



中尾 幸さん

航空自衛隊初の 女性分屯基地司令

PROFILE

なかお みゆき (48・白浜区)
北海道千歳市出身。航空自衛隊初の
女性分屯基地司令として御前崎分屯
基地に平成25年7月着任。
特技は要撃管制(スクランブル発進
した要撃機を地上から誘導・指示し
て目的を達成する)

厳しい訓練を乗り越え
自衛隊の訓練といえば鬼教官がいて、とても厳しいイメージがあるのだが、実際にはどうだったのだろうか。
「さまざまな状況を想定し、忍耐や協調性を重視した訓練が行われます。肉体的な訓練

よりも精神的なプレッシャーに耐えることが大変でした。当時の仲間と支え合い、協力し合えたからこそ今の私があります」と入隊当初の厳しい訓練を振り返る。
「鬼教官は確かにいましたね。でも、厳しい中にも隊員を思う熱い気持ちがあふれていて、叱られながらも『頑張れ!』と背中を押してもらっているようでした」と懐かしそうに笑顔で語る。
自衛隊は地域とともに
分屯基地が御前崎にできて56年。中尾司令は「地元の理解や信頼無くして自衛隊は成り立ちません。地域行事に参加させていたいただくなど、地域の皆さまに温かく見守られ、受け入れていただいてとてもありがたく思っています」と地域へ感謝の思いを語る。
「男性のイメージが強い職業ですが、女性も存分に活躍できる素晴らしい職業です。興味がある人はご連絡ください」と現在、自衛官を募集中とのこと。
夏休み体験の一つとして地元自衛隊を見学してみてもいいだろうか。

自衛隊を見て育った
今でこそ女性隊員もそれほど珍しくない時代だが、なぜ自衛官という職業を選んだのだろうか。
「私の出身は北海道の千歳市で、そこには陸上自衛隊と航空自衛隊の基地が三つもあったんです。子どもの頃から自衛隊をよく見ていたので自然と興味を持つようになったんです」と語ってくれた。

御前崎に航空自衛隊のレーダー基地があることを皆さんは知っているだろうか。日本の領空や周辺空域を監視し、国籍不明機による領空侵犯の恐れがある場合には緊急連絡を行うとともに、空域内の管制情報を発信する。それが御前崎分屯基地だ。
中尾司令はそこで基地のトップとして活躍している。
自衛隊を見て育った
今でこそ女性隊員もそれほど珍しくない時代だが、なぜ自衛官という職業を選んだのだろうか。
「私の出身は北海道の千歳市で、そこには陸上自衛隊と航空自衛隊の基地が三つもあったんです。子どもの頃から自衛隊をよく見ていたので自然と興味を持つようになったんです」と語ってくれた。

御前崎に航空自衛隊のレーダー基地があることを皆さんは知っているだろうか。日本の領空や周辺空域を監視し、国籍不明機による領空侵犯の恐れがある場合には緊急連絡を行うとともに、空域内の管制情報を発信する。それが御前崎分屯基地だ。
中尾司令はそこで基地のトップとして活躍している。
自衛隊を見て育った
今でこそ女性隊員もそれほど珍しくない時代だが、なぜ自衛官という職業を選んだのだろうか。
「私の出身は北海道の千歳市で、そこには陸上自衛隊と航空自衛隊の基地が三つもあったんです。子どもの頃から自衛隊をよく見ていたので自然と興味を持つようになったんです」と語ってくれた。

御前崎に航空自衛隊のレーダー基地があることを皆さんは知っているだろうか。日本の領空や周辺空域を監視し、国籍不明機による領空侵犯の恐れがある場合には緊急連絡を行うとともに、空域内の管制情報を発信する。それが御前崎分屯基地だ。
中尾司令はそこで基地のトップとして活躍している。
自衛隊を見て育った
今でこそ女性隊員もそれほど珍しくない時代だが、なぜ自衛官という職業を選んだのだろうか。
「私の出身は北海道の千歳市で、そこには陸上自衛隊と航空自衛隊の基地が三つもあったんです。子どもの頃から自衛隊をよく見ていたので自然と興味を持つようになったんです」と語ってくれた。